

平成18年度 各会計予算を 可決

【一般会計】
平成18年度は、市の将来都市像を「躍動をかたちに 進化するまち こだいら」と定めた、第三次長期総合計画「こだいら21世紀構想」のスタートの年であり、緑と住みやすさを大切にするとともに、さらに自立し活力あるまちの実現を目指し、①市民活動支援・市民参加の一層の推進、②計画等に基づく諸事業の着実な推進、③行財政の再構築の3点を重点に置き予算を編成しました。



小平市第三次長期総合計画(定価1600円で販売中)

平成18年度一般会計予算及び5つの特別会計予算が、3月定例会最終日の本会議で可決されました。

定例会初日に一般会計及び特別会計の各予算特別委員会が設置され、一般会計は3月6日から8日までの3日間、特別会計は3月9日に審査されました。

定例会最終日には、島村速雄一般会計予算特別委員長と立花隆一特別会計予算特別委員長が審査報告を行い、採決の結果、いずれも全会一致で可決されました。

市長提案説明の予算概要と、一般会計予算特別委員会における各会派(一人会派は除く)の総括質疑は次のとおりです。

平成18年度予算総額

(単位:千円、%)

	18年度予算額	17年度予算額	伸び率	
一般会計	49,660,000	48,908,750	1.5	
特別会計	国民健康保険事業	13,816,000	13,334,000	3.6
	老人保健	10,611,800	11,195,500	△5.2
	介護保険事業	7,359,500	6,975,700	5.5
	下水道事業	5,231,700	5,474,300	△4.4
	受託水道事業	1,165,000	1,488,900	△21.8
	合計	87,844,000	87,377,150	0.5

【国民健康保険事業】
予算総額は49億6600万円、前年度に比べ1.5%増です。市税については、定率減税の縮減等の税制改正などにより、2.8%の増を見込んでいます。また赤字債である臨時増収は、被保険者数は全体として低い伸びとなり、保険料収入も大きな伸びが見込めない厳しい財政運営が続くため、一般会計からの繰入金等を20億円計上しました。

【老人保健特別会計】
予算総額は10億6118千円、前年度に比べ5.2%減です。法定割合に基づき、支払基金交付金、国庫・都支出金及び一般会計からの繰入金を見込みました。

【介護保険事業】
大部分が医療費の支払い等に当たる医療諸費で、対象は前年度より770人減の1万5千2百80人を見込み、1人当たりの医療費は年間約69万円と推計しました。

【下水道事業特別会計】
予算総額は5億2317千円、前年度に比べ4.4%減です。雨水及び汚水の整備事業を計画するとともに、公共下水道施設の維持管理費、市債の償還金である公債費などを計上しました。

【受託水道事業特別会計】
予算総額は1億1650千円、前年度に比べ21.8%の減です。都からの委託金です。

【国民健康保険事業】
既設水道施設の維持管理及び職員人件費等です。なお、本年度の給水人口は18万5千人を予定しています。

市議会公明党

質問 ①平成18年度の主要事業にコミニティバスの検討に関する記載がないのはなぜか。
②市報は市長の個人的意見を掲載するものではないので、公私を区分し自重すべきと考えるがどうか。
③市長は行政改革において職員を削減しないと言っているが、行政経営プランの基本的な考え方は。
④国民保護法に関連する条例が制定されるが、市民への周知と市長の国防意識に対する考え方は。
⑤35人学級の実現についての考え方は。
⑥総合的な交通体系のあり方懇談会から報告を受け、今後も継続して検討したい。

質問 ①今後の安全・安心のまちづくりについて、市長の考えは。
②子どもを安心して産み育てるための、子育て支援策を伺う。
③障害者、若年者、女性、高齢者への就労支援策は。
④市長の考える文化、スポーツ、芸術の振興策とは。
⑤玉川上水等の保全に対する考えは。

答弁 ①公共の領域を越えて、市民や商工会、農協などに協力してもらうほか、自治会が地域コミュニティとして行政と協働できる関係ができればと考える。
②次世代育成行動計画を着実に実行するとともに、病後児保育等のサービスを努力していきたい。

政和会

質問 ①市長が選挙の際に市民と約束したマニフェストの進捗率はおおむねどのくらいか。
②職員の採用や昇進において、男女の隔たりが解消されていないように感じるが、一方の性に偏らないという目標をどう実現していくのか。
③学校の安全対策として防犯カメラの設置等が予算に計上されたが、運用に当たってはどうか。
④市民がお金を出し合って保全したい緑を共有し、後世に残していくというトラスト運動に対する考えは。
⑤高齢者の交通安全対策は警察だけではなく、市にも積極的に取り組んでほしいがどうか。

答弁 ①おおむね3分の1達成されたが、今後も鋭意努力していきたい。
②方向性や一般論としては賛成なので、今後はそのような考えをもとにして職員採用に臨みたい。
③防犯カメラの運用方法は、保護者や地域、子どもたちにも安心してもらえるよう、今後、各学校の学校経営協力者会議で検討していく。
④一つの手法として効果的と考えられるので、ぜひ取り組んでいきたい。
⑤交通標識のメンテナンスや道路管理を適切に行うとともに、自転車マナー等の啓発を行いたい。

一般会計予算に対する 各会派の総括質疑 要旨

質問 ①今後の安全・安心のまちづくりについて、市長の考えは。
②子どもを安心して産み育てるための、子育て支援策を伺う。
③障害者、若年者、女性、高齢者への就労支援策は。
④市長の考える文化、スポーツ、芸術の振興策とは。
⑤玉川上水等の保全に対する考えは。

答弁 ①公共の領域を越えて、市民や商工会、農協などに協力してもらうほか、自治会が地域コミュニティとして行政と協働できる関係ができればと考える。
②次世代育成行動計画を着実に実行するとともに、病後児保育等のサービスを努力していきたい。

フォーラム小平

質問 ①特別養護老人ホーム等の待機者は多く、今後はベッド数も削減される予定であるが、今後の介護施策は。
②子育て支援策について、市長個人の経験から、市政に反映させていきたい支援策は。
③通常学級における介助員配置を今後拡充していく考えはあるか。
④今後の国語教育は、どのようにあるべきと考えるか。
⑤障害者自立支援法が成立したが、今後障害者就労支援策をどのように展開していく考えか。
⑥待機者の解消は厳しいが、施設整備についても検討していきたい。

答弁 ①特別養護老人ホーム等の待機者は多く、今後はベッド数も削減される予定であるが、今後の介護施策は、細かく対応できるよう、多様なサービスをメニュー化していきたい。
②子育てをする環境は家庭によりさまざまであるため、個々の事情にきめ細かく対応できるよう、多様なサービスをメニュー化していきたい。
③介助員のあり方については検討委員会を立ち上げたので、その審議結果を踏まえ検討したい。
④すべての教科の基礎となる、非常に重要な教科であると認識している。各学校が適切に国語科の指導ができるように教育委員会で指導したい。
⑤知的、身体、精神などが統合されて、自立に向けて施策が実施されていくが、平成18年度に行う調査に基づいて、いろいろなメニュー化していきたい。

日本共産党小平市議団

質問 ①市民の暮らしは相当深刻な状況であると考えますが、市長の認識とそれに対する対応は。
②三位一体改革が行われているが、安定した財政運営を行うための考え方は、地方分権の拡大につながるよう市長会等を通じて要望したい。
③多くの市民の理解や協力が必要なため、防災会議のメンバーのほか5人、市民の声を反映してほしいがどうか。
④コミュニティバスと交通不便地域への対応は。
⑤自治基本条例を策定するに当たって、市長の希望や力を入れた点は。

答弁 ①市の経済的支援には限界があるが、生活困窮者等に対する行政サービスの負担については検討したい。
②今後の策定する行政経営プランに基づき財源を確保していく。国に対しては、地方分権の拡大につながるよう市長会等を通じて要望したい。
③多くの市民の理解や協力が必要なため、防災会議のメンバーのほか5人、市民の声を反映してほしいがどうか。
④総合的な交通体系のあり方懇談会の報告を最大限に尊重し、採択された4つの請願の内容も真摯に受けとめながら実行したい。
⑤これからの市のまちづくりなどについて、多くの市民から意見を出してもらい、市の、国で言えば憲法と言われるようなものをつくりたい。

緑・ネット

質問 ①市民の暮らしは相当深刻な状況であると考えますが、市長の認識とそれに対する対応は。
②三位一体改革が行われているが、安定した財政運営を行うための考え方は、地方分権の拡大につながるよう市長会等を通じて要望したい。
③多くの市民の理解や協力が必要なため、防災会議のメンバーのほか5人、市民の声を反映してほしいがどうか。
④コミュニティバスと交通不便地域への対応は。
⑤自治基本条例を策定するに当たって、市長の希望や力を入れた点は。

答弁 ①市の経済的支援には限界があるが、生活困窮者等に対する行政サービスの負担については検討したい。
②今後の策定する行政経営プランに基づき財源を確保していく。国に対しては、地方分権の拡大につながるよう市長会等を通じて要望したい。
③多くの市民の理解や協力が必要なため、防災会議のメンバーのほか5人、市民の声を反映してほしいがどうか。
④総合的な交通体系のあり方懇談会の報告を最大限に尊重し、採択された4つの請願の内容も真摯に受けとめながら実行したい。
⑤これからの市のまちづくりなどについて、多くの市民から意見を出してもらい、市の、国で言えば憲法と言われるようなものをつくりたい。